

# 令和4年度 介護の日 作文・写真コンクール作品集



茨城県老人福祉施設協議会長賞  
佐伯 みゆき (いくり苑那珂) 「離れていても」



茨城県知事賞  
荒井 朱音 (サテライトさわの森 (特養)) 「春をつかまえに」



審査委員長賞  
稲葉 秋子 (延寿館 (特養)) 「96歳の笑顔」



広報委員長賞  
大内 千恵子 (縦山デイ) 「初体験」



茨城県介護福祉士会長賞  
香取 明日美 (阿見翔裕園 (特養)) 「大収穫!」



審査委員長賞 佐久 和宏(笠間陽だまり館(特養))  
「火加減なら任せなさい」



広報委員会委員長賞 岡安 法子(みどりの里(ケア))  
「流しそうめん」



## はじめに

十一月十一日は、「介護の日」です。「介護の日」は、介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護に取り組む家族を支援するとともに、これらの方々を取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する日とされております。

この趣旨を踏まえ、県と茨城県老人福祉施設協議会との共催による「介護の日」作文コンクールを実施し、県民誰もが介護について考えるきっかけとするとともに、茨城県老人福祉施設協議会主催で「介護の日」写真コンクールを実施し、高齢者福祉・介護現場での多くのふれあいと感動を伝えることとしております。

今年度も、関係する皆様の御協力により、心温まる多数の作品をご応募いただき、第十四回目となる両コンクールを開催できましたこと、厚く御礼申し上げます。

作文コンクールにおいては、二百八十一作品の応募があり、茨城県知事賞、茨城県議会議長賞、茨城県老人福祉施設協議会長賞、茨城県社会福祉協議会長賞、茨城県理学療法士会長賞、茨城県介護福祉士会長賞の各賞二作品、合計十二作品を選定いたしました。また、写真コンクールにおいては、百九十二作品の応募があり、茨城県知事賞、茨城県老人福祉施設協議会長賞、茨城県介護福祉士会長賞等を選定いたしました。

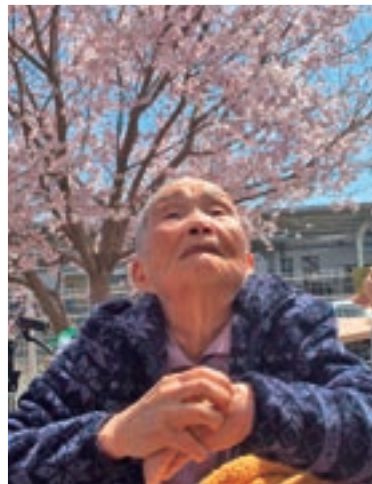
この度、両コンクールの受賞作を作品集にまとめました。多くの皆様に御覧いただくことで、介護についての理解と認識を深める一助となれば幸いです。

## 目 次

渡辺 優「心をつなぐ最高の笑顔」……………	1
染谷 綾乃「幸せな看取り」……………	2
大木 悠羅「僕のひいおばあちゃん」……………	3
福井 正人「またもう一回…（やりたい）」 という対象の方の声を目指して 父の介護体験から……………	4
飯田 覇人「介護の大切さ」……………	5
小島 明弘「すごい女性がいたもんだ」……………	6
高島 優「介護福祉士になった理由とこれから」 ……………	7
杉山 高美「ひとりで背負わないで」……………	8
宮崎 流歌「私たちの介護ヘルパーさん」……………	9
鈴木 考枝「私にとっての介護」……………	10
高田維久子「介護はサポート」……………	11
ファン タイン タイン 「ボクの福祉への道」……………	12
茨城県老人福祉施設協議会の取り組み……………	13
茨城県社会福祉協議会の取り組み……………	14
茨城県理学療法士会の取り組み……………	15
茨城県介護福祉士会の取り組み……………	16



介護福祉士会長賞  
石塚 喜美（玉樹（デイ））  
「応援ありがとー！！」



秀作 鈴木 明子（スマイルあかね（認知症デイ））  
「いや～キレイだ！」



佳作 大橋 正子（縦山デイ）  
「とうみぎ」



佳作 佐藤 淳子（阿見翔裕園（特養））  
「お前かあ～っ！」



佳作 半村 悠佳（希望の森（特養））  
「『夜なべした母』」



佳作 古矢 美佐緒（延寿館（特養））  
「餅つき大会」





特別賞 端 昌子 (じゅげむ (デイ))

「一緒にやりましょう」



## 茨城県知事賞

# 心をつなぐ最高の笑顔

私には大好きなものがある。それは、林さんの笑顔だ。林さんとは、父が働く社会福祉法人のデイサービスに来ているお年寄りのことだ。私はよく老人ホームへ行き、お年寄りの方と話している。その中でも特に優しくしてくれる林さんのことが私は大好きだ。

五月一日。この日もいつもと同じように老人ホームに来ていた。私は林さんに、

「デイサービスで楽しいことは何ですか。」と尋ねた。すると、

「周りの人と毎日笑えることかしら。明るい環境をつくってくれる職員さんと優ちゃんのおかげだよ。」

と笑顔で応えてくださった。それを聞いて私は幸せな気持ちでいっぱいになった。そして、介護福祉士の人の多くが「相手の笑顔を見たとき」をやりがいにあげる理由が分かった気がした。

その日を境に、私は「介護福祉士」という仕事に興味を持ち始めた。すると、私が思っていた何倍も大変な仕事なのだと思った。

食事介助では、利用者さん一人一人のペースに

合わせてサポートをする。その時に気管の筋力などが衰えている方もいるので、窒息しないよう常に細心の注意を払わないといけない。そのため、自分の食事がおろそかになってしまうこともある。また、入浴介助では、自分よりも身体が大きい利用者さんを支えなければならぬため、体力的な負担がとても大きい。

この他にも、身体的にも精神的にも辛くなることとがいくつもあることを知った。それでもなお、介護職に就く人がいるのは、きっと大きな喜びを感じる瞬間が多々あるからだろう。例えば、私が林さんからの笑顔と感謝の言葉をもらったときのように。

介護とは、人と人との思いやりの心が通じ合った時によく成り立つものだと思う。一人でも多くの利用者さんに「出会えて人生が彩り豊かになった」と思っていただけ介護をすることが私の夢だ。その夢の途中で挫折することもあるだろう。しかしその時には思い出そうと思う。利用者さんの最高の笑顔。

下館中学校 2年生

渡辺 わたなべ

優 ゆう



秀作 小林 紗奈 (成華園サテライト (特養))

「特等席」

## 茨城県知事賞

### 「幸せな看取り」

「介護」と聞くとおじいちゃんおばあちゃんのことを思い浮かべる人が多いだろう。

私は小学生の子を持つ三十代の母親で、病気で重度障害者になった一つ年上の夫を介護して、昨年晩秋に最期を看取っている。

ここ数年、車椅子を車から降ろして、私よりも体重のある成人男性を介助して病院通いをする日々だった。

治療の甲斐もなく病気の進行はどんどん進み、昨夏に緊急入院。医師から余命宣告を聞いて呆然としてしまったが、コロナ禍での面会が限られている中で悔いが残るのは嫌だと決心、在宅医療に切り替えた。

意思疎通も取ることが難しくなっていたが、それでも自宅で子供や家族に囲まれて過ごす夫は嬉しそうだ。寝たきりになってしまっても、遠方に住む友達とオンラインのビデオ通話で声を聞くと楽しそうだった。急変してからその時までずっと私は手を握っていて、家族に見守られなが

ら最期はとても穏やかに眠りについた。在宅での医療ケアや介護は苦労も多かったが、病院に入院していたらこんな幸せな看取りは出来なかったと思う。

私達の在宅医療が成り立っていたのは地域の訪問医療サービスのおかげで、中でも訪問看護師の方々にはとても感謝している。介護に慣れない私達を手厚くサポートしてくれて、何かあればすぐに来てくれた。私と同じ年の看護師さんが夫のエンゼルケアもしてくれたのだ。

元気だった昔のことを話して泣きながら笑って、一緒に最後の着替えの手伝いをさせてもらったことを今でも思い出す。介護のことだけではなく、あの明るい声と笑顔にたくさん助けられていた。

夫が病気になるなければ出会うことはなかった、素敵な出会いだった。

この感謝の気持ちをお忘れずに、これからの長い人生を夫の分も楽しく生きていきたい。

染谷 そめや  
綾乃 あやの



秀作 西井上 知子 (成華園デイ)

### 「ハッピースマイル」



## 茨城県議会会議長賞

# 僕のひいおばあちゃん

僕のひいおばあちゃんは、94歳で亡くなりました。ひいおばあちゃんは、僕が住んでいる隣の県に住んでいて、一年に何回かしか会う事がなかったのですが、会えば優しくいつも笑顔で僕をかわいがってくれていました。僕のお母さんが子供の頃ひいおばあちゃんの家にあそびに行くと、朝早くから畑に出て仕事して、家にいる時は内職をしたり、そうじや家事をして一日中動いている働き者のおばあちゃんだったんだよと教えてくれました。僕の知っているひいおばあちゃんは、歩く事だって大変そうで、手伝ってあげると「ありがとう。まったくしょうがないね。情けない。」と周りの人に言っていました。僕はお母さんの話を聞いて、何でも自分で出来たことが歳とともに出来なくなってしまうことを、ひいおばあちゃんは情けなく感じているのだなあと思いました。人間は、必ず歳をとります。体がおとろえ動かなくなる、誰かに介護される事はあたりまえの事、でもひいおばあちゃんは、みんなにめいわくと思われ

たくなく、きつと「ありがとう、すみません。」と言ってしまう人なんだと思います。悪い事など何もしていない、若い頃から一生懸命働いて歳をとり、あたり前の事なのに介護される事を悪い事だと思ってしまうんだろうな。と感じました。僕のお母さんは「何言ってるの。だいじょうぶだよ。大変なんかじゃないし、順番だよ。次は私だって子供達にしてもらうんだから。」と笑ってお母さんはひいおばあちゃんのしわのある手を握って言いました。それを聞いていた僕は、そうだ介護は順番。僕だって母か父を、そして自分もされる時がくるんだ。と感じました。ひいおばあちゃんが亡くなってしまうた今も、あのしわのある手を忘れていません。介護とは順番。命のつながりなんだと、あの時のひいおばあちゃんと母の会話で感じました。



三和北中学校 3年生

大木 悠羅  
おおき ゆら





秀作 佐藤 あすか (玉樹 (特養))

「窓越しの夫婦愛 ～トミ!頑張れ!～」



## 茨城県議会会議長賞

「またもう一回…(やりたい)」という

対象の方の声を目指して

「父の介護体験から」



つくば特別支援学校教員

福井 正人  
ふくい まさと

私は現在、広い意味で「介護」の仕事に従事しています。約七年前に、母と一人息子である私は、父の介護をしました。当時、少し離れた所に住んでいましたが、後半の二年間はほぼ毎日、勤務前後に実家へ立ち寄り、世話を行いました。その中で、「介護」について感じ取り、仕事に照らし合わせ考えたことを書きたいと思います。

父は肝臓癌で、診断時には「余命半年」と言われましたが、それ以上生きました。特に、亡くなる前の二年間ちよつとは、大部分が介助という状況でした。ただ、間際まで意識は割とハッキリとしており、ある程度判断力もあったように記憶しています。父にとって、闘病生活は辛かったと思います。しかし、母と頑張って対応し、父もその都度、「有り難うな。」と言ってくれました。満足してくれていたと思っっています。確かに、息子と違い、気配り等ができる男でした。

そんな後半のある時に、娘(父においては孫)たちが、下手ながらも父が大好きだった『ゴルフ』の経験を感じてもらいたいと企画し、皆で簡単な弁当を持って、近くの広大な芝生が広がる公園へ、車椅子の父を囲んでラウンド?をしに行きました。お昼

には皆で、弁当を食べました。その時に娘の発案で、父のもう一つの趣味である『お酒』を感じてもらったこともしました。当然、医者からは酒は止められています。でも、娘たちはこのように行いました。まず、酒の匂いを父に嗅いでもらい、その後でお茶を飲む。その繰り返しです。この我が家の行事は、それから月に一度、定期的に行われました。そして、四度目の行事前に、父は旅立っていききました。

旅立つ少し前、入浴中ボソッとこう言いました。「また、もう一回、みんな公園に行きたいなあ。」後で聞いたことですが、母にも初めて行った時から、ちよくちよく言っていたようです。何が良かったのか、楽しかったのか、明確で本質的なところは分かりません。ただ、父の真の欲求というか、本能的な心が揺さ振られた結果、出てきた言葉なのは間違いないと思います。

私は、この経験の後、自身の仕事を振り返ってみました。「また、もう一回…。」介護サービスの提供にあたって、常に意識しておきたいと思いましたが。そして、父が私に与えてくれた貴重な助言とと思っています。



秀作 磯部 昌子 (元気館 (特養))

「春つかまえた！」



## 茨城県老人福祉施設協議会長賞

### 介護の大切さ

私が、小三の時に祖父が脳の病気により、病院に入院した。そして、診断により、命はそう長くはないと言われた。祖父は、私が小さい頃から優しく接してくれたのでその時はすごく悲しかった。

そこから、毎日のように病院に行き、祖母が中心となり介護が始まった。しかし、私は当時小三だったこともあり、あまり手伝えることができなかった。けれど、毎日祖父と会話することは、習慣にしていた。

数週間後、一回目の手術があった。そこで一つ考えた。そう、手紙を書くことだ。それを手術当日に渡した。そして手術後に、祖父が「ありがとう。元気をくれたよ。」

と言ってくれたのがうれしかった。そこから毎週、手紙を渡すことにした。また、タオルで背中をふいたりなど積極的に介護に取り組むことができるようになった。

入院してから約七ヶ月たったとき、祖父の認



三和北中学校 3年生

飯田 覇人  
いいた はると

知症が悪化してきた。しかし、毎日の話し合いと、毎週の手紙は、忘れずに行っていた。そこから、二週間ほど過ぎた後、ついに家族のことまで忘れてしまい、あまり話すことのできないまま、一方的な会話だけが続いていった。

ついにこの時がきてしまった。祖父の体調が急変し、医者にも残りはあと少しですと言われた。そこで私は、最後の言葉を祖父に語りかけた。その時に、認知症で忘れてはいるはずなのに、「手紙と介護をありがとうね。」

と、言ってくれた。そこで、涙を流すとともに、息を引き取った。

この体験を踏まえて、私は、介護の大切さを知ることができた。たとえ相手が自分を忘れてしまっても、最後の最後で、声をかけることが介護で一番大切だと感じた。





秀作 飯塚 典子 (シルトピア)

「また日本において」



## 茨城県老人福祉施設協議会長賞

# すごい女性がいたもんだ

特別養護老人施設で働く女性上司と、男性新人介護職員のお話をします。まずは自己紹介から。僕の介護歴は丸二年。年齢は三十九歳。年齢を利用者様に聞かれたら、年齢は言いたくないから「三十代です」と答えるようにしています。介護業界に入る前は工場勤務でした。機械オペレーターです。だから、介護のことはまだまだ全然これから。そんな僕を見守っているのが、介護主任。わたくしの上司でございます。性別は女性。年齢は不明。聞いた事が無いから分からない。雨が降りそうになれば、どこからともなく現れ、見回りをし、また別のユニットへ。普段、日中ベッドで横にならない利用者様がいれば、どこからともなく現れ、体調確認をし、また去っていく。エピソードをあげればキリがないですけど、本当によく気が回る人なんです。

利用者様に対しても、職員に対しても。本当にささいな変化によく気が付くんです。自分が2ミリ髪の毛を切っただけで、気が付く人なんです。



特別養護老人ホーム  
セ・シボンかしま

小島 明弘  
こじま あきひろ

「よく気が付きましたね」と言うと、「ストーリーだから（笑）」と冗談で返す上司。この日から施設内にいる時は、ときおり後ろを振り向くようにしています。

そんな上司のあいさつは、「ごきげんよう」です（笑）理由は、「お疲れ様」だと利用者様が聞いた時に「私のお世話で疲れたのかしら？」と感じさせない様に、気を使わせないようにするためとの事。機械相手なら心を読む必要も、読もうとする気持ちを持つ必要もないじゃないですか。あらためて、介護って人間を相手にしている仕事なんだと感じたお話をしてみました。

この作文を書いている時、たまたまこの上司に声をかけられました。「見せて。まだダメ？」と。読み終わったあと、なんて言われるのか気になります。最後まで読んで頂きありがとうございます。では、ごきげんよう。



佳作 岸田 卓也 (成華園 (特養))

「コロナ禍の華 (はな) の訪れ」



茨城県社会福祉協議会長賞

## 介護福祉士になった理由とこれから

「どうして介護福祉士になろうと思ったの？」  
実習先やバイト先など、初めて会った人にほとんどの確率で聞かれる質問である。元々、私が介護福祉士になろうとした理由は小さい頃から「優しいから介護福祉士いいんじゃない？」と母に言われ「やりたいことも無いし介護でいいか」と何となく決めたことだった。高校三年生の時に祖母が亡くなるまでは。祖母が難病だと診断され、東京で難しい手術をすることになった。東京に行く前日、祖母に頑張ってねと伝え握手をした後、次に顔を見たのはエンゼルケアの時だった。新型コロナウイルスが流行し、病院にお見舞いにも行けず祖母は一人で亡くなった。辛さや不安を一人で抱え、祖母は外でウイルスが流行しているから会いに行けない事を知らない。

寂しかったはずだ。先日行った実習先でも同じような状況があった。このコロナ禍になって面会が出来なくなった利用者様、元々家族が面会に来



アール医療福祉専門学校 2年生

高島 優たかしま ゆう

ない利用者様だ。その実習先で寝る時以外は部屋で過ごさない利用者様の部屋を拝見させていただくと、ラジカセが置いてあった。「終末期とかなって一人でベッドで過ごすようになると、静かな部屋だと色々な不安に襲われる。だからラジカセとかテレビの音とか普段聞いている好きな曲を流しておく事で不安を軽減させるんだよ」と職員の方がおっしゃった。終末期に対するケアについては学んでいたが、盲点だった。特別養護老人ホームは終の棲家と言われる施設だ。中には「亡くなるまで会わない」と言う家族もいると言う。施設に入所される利用者様にとっては職員と他の利用者様も家族となる。私は利用者様がここで過ごせてよかった、と感じてもらえる介護福祉士になりたい。利用者様が寂しさを感じない様に自分は何が出来よう、そう考えながら日々のケアにあたっていきたい。





佳作 大利 夏樹 (新つくばホーム (デイ))

「スナック新つくば開店!!!」



## 茨城県社会福祉協議会長賞

# 「ひとりで背負わないで」

「お母さん、おはよう」そう言って私の朝は始まる。いつもなら、「ママさん、おはよう」って返事がかえってくるのに。

母が留守になって八ヶ月余りになった。

私の母は、十七年ほどデイサービスのお世話になっていました。心が風邪をひいた状態から寝こむようになり、主治医の先生のご配慮で福祉の窓口に繋がりました。

抱えこまれるように、介護バスに乗るスタートでした。子供を幼稚園に送るみたいな心配の日々もだんだん食欲が戻り、頑張りやさんの母は介護度三から二へと落ち着きを戻していききました。手先が器用だったりお習字が得意なことも幸いして、スタッフの皆さんが残っている力を輝かせ守って下さいました。

しかし、平穩は九十歳を前に曇りがちになりました。思い通りにいかなかったのは、耳の聞こえや歩くことへの不安でした。そして身体のあちこちの不調を訴えることが多くなりました。今思



すぎやま  
杉山 高美

えば出来ていたことがどれもうまくいかなくなる前触れで、母にとっては心細さの表現だったかも知れません。私は、まだ九十歳になったことがないので、その思いを共有するのは難しいことでした。そんな暮らしの中で父が倒れ入院後他界し私の中は空まわりばかりでした。母は、とりもどしたいものがあるかのように気持ちが荒れ私たち夫婦の一番辛い時期でした。

そんな困っていたとき、相談にのっていただいていたケアマネージャーさんが仰いました。「ひとりで背負わないで。疲れてしまいますよ」って。頼ってよいのだという言葉に、本当に助けられました。介護の度に見えない介護の隙間を埋めて下さったり、包んで下さるスタッフの皆さんには深く感謝しております。母は、現在病院と施設にお世話になり九十五歳の誕生日を迎えました。

お母さん、おめでどう。お母さんの杖だった私の手もいっぱいおめでどうを言ってるよ。

コロナが終わったら、ぎゅっとしてあげるね。



佳作 樋田 亮太 (ドルフィンサテライト (特養))

## 「ガブリ」

## 茨城県理学療法士会会長賞

# 私たちの介護ヘルパーさん

私のひいおじいちゃんは、認知症でした。認知症になったのは、ひいおじいちゃんが初めてで、家族一同なにからすればいいのかわからず、困っていました。介護はいつも、おばあちゃんにまかせきりでした。

私たちは話し合いました。ひいおじいちゃんの状態は悪くなる一方で、介護ヘルパーさんに、介護を手伝ってもらうためです。みんな、あまり良くは思っていない様子でしたが、おばあちゃんの負担が少しでも軽くなればいいと思い、ヘルパーさんをたのみました。

私たちは、ヘルパーさんに色々教わりました。介護の正しい方法や接し方、バリアフリーへの第一歩、傷つけたくないが傷つきたくない、そんな思いを相談しました。

「あなたたちだけじゃない。」  
普段なら嫌う言葉も、救いの言葉に変わりました。「私たちは、なにも変じゃない。私たちだけで抱えこまなくていい」そう思うと、なんだか安



古河第三中学校 2年生

宮崎 みやざき  
流歌 るか

心してしまいました。ずっと変に緊張していた空気が、一気に和んでいきました。日に日に私たちの笑顔は増えていきました。

でも、私たちの笑顔が増えても、ひいおじいちゃんの容態は悪くなっていくばかり、私たちが楽しく介護していても、以前のひいおじいちゃんが戻ってくるわけではありません。いつかは急に居なくなってしまう、そのカウントダウンはすでに始まっている。ふとした時、どうしても考えがしまいました。いつかはその時が来てしまう。だからこそ、後悔されない、後悔しない介護をしようと思えました。

もちろん介護はずっと楽しい気持ちでは出来ません。お互い辛いし嫌な思いもする。だからこそ、よく考えたり、協力し、たまには意見を交わす。自分だけの力ではなく、他の人の力を借りることもある。私たちがここまで介護に積極的になれたのは介護ヘルパーさんのおかげです。介護の「楽しさ」を教えてください「ありがとう。」





佳作 笹本 幸平 (セ・シボンかしま)

『『やっぱ甘酒は最高だっぺな〜!』』



## 茨城県理学療法士会長賞

# 私にとっての介護

初めて介護の仕事に就いてからもう18年経つ。私は、高校も普通科、大学も経済学部。介護の勉強は何ひとつしてこなかった。どうして介護の仕事を選んだのかと聞かれる事も多かったが、具体的に説明できる理由はそうなかったように思う。私は核家族で、祖父や祖母とは同居していなかった。なので、介護が一体どんな事なのか、どれ程大変な事なのかを全く理解していなかった。今思えば、知らなかったからこそ、先入観を持つ事なく介護の道に入る事ができたのではないかとも思う。

ヘルパーを取得するための実習で、介護施設に行つた際、緊張する私に、ある一人の入所者の男性が冗談を言つてその場を和ませてくれた事を思い出す。それがきっかけで、実習期間中その男性といろいろな話をさせてもらう事ができた。この実習で、介護技術だけではなく、まず相手を知る事、相手に自分を知ってもらう事が大切だと学んだ。そして、「ありがとう」と声をかけられる事も多く、感謝をされる気持ちが嬉しくもあった。こんな自分でも人の役に立つ事ができるのかな。と介護の仕事をしようとして決意した。



特別養護老人ホーム

鈴木

考枝

希望の森

特別養護老人ホームの職員として働く事になった。思っていたよりはるかに重労働だった。慣れるまでは大変だったが、心が折れそうな時、いつも私を救ってくれたのは、入所者様のありがとうだった。その言葉に、もう少し頑張ろうと力づけられていた。

初めて利用者様の看取りに関わらせてもらった時、これで良かったのか。もっと何か出来る事はなかったかと自問自答し、もやもやとした気持ちになった。その時も私を救ってくれたのは家族からのありがとうだった。この仕事には、正解やゴールがない時も多い。だからこそ、やりがいを持つ仕事だと思ふ。介護の仕事に就いてから、人に対して優しくなつたと思ふ。自分の生活においても、困っている人がいたら助けよう。困った時はお互い様だと思ひながら過ごしている。

自分らしく生活していくために、時には誰かの力を借りる事があたり前の世の中になつて欲しい。

単なるお世話ではなく、その人らしい生き方が出来るようにお手伝いすること。気持ちと気持ちで触れ合い、その気持ちに寄り添えること。これが私が考える介護である。



佳作 秋山 早穂子 (ナザレ園)

### 「ここだけの話」



## 茨城県介護福祉士会長賞

### 介護はサポート

私の祖母は、私が生まれる前に脳こうそくになり今でも左半身がまひしている状態です。なので私は、小さい頃から車椅子をおしたり、割り箸を割ってあげたり、爪を切ってあげたり、ペットボトルのキャップをあけてあげたりといった細かいお手伝いをしています。ちよつとしたことでもお手伝いをする「ありがとう」や、「えらいね」と言われお手伝いをするのがとても大好きです。

「ありがとう」という言葉は感謝を伝える言葉ですが、私は一瞬でやる気と、モチベーションを上げてくれる大きな力を持っていると考えています。

ある日私が、祖母の家にお手伝いをしに行ったとき、祖母のケアだけでなく相談にのって下さっている理学療法士さんを見て、私は理学療法士になりたいと思いました。

理学療法士という仕事は、身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対して、基本動作能力の回復や維持を目的にケアを行う仕事です。



大成女子高等学校 1年生

### 高田維久子

年代やケガの状況によって、一人一人にあったそれぞれの目標に向けて適切なプログラムを作成するので、とても難しい仕事です。ですが、多くの人によりよい日常生活をおくれるよう手伝い、サポートできるので、とてもやりがいのある仕事だと思います。

私にとって「介護」とは、お世話ではなく、サポートです。

お世話というのは、身の回りのことを面倒みることです。サポートというのは、支えることです。要介護者のできることを奪わずに、できない事だけをサポートし、要介護者の気持ちに寄り添ってお手伝いするのが一番だと考えています。

改めて、これからも祖母のサポートをしながら「介護」とは何かを考え、多くの人のお手伝いができるようがんばりたいです。





佳作 松崎 あゆみ (スマイルあかね (認知症デイ))  
「それ!行くわよ!」



## 茨城県介護福祉士会長賞

# ボクの福祉への道

言語も文化も異なる日本で介護の仕事をするのは、想像を遙かに超える楽しさと、大変さがありました。

小さい頃、ベトナムに住んでいるおじいちゃんとおばあちゃんによく遊んでもらっていた私は、将来なにか恩返しがしたいと思い介護の仕事に就く事を決意しました。

施設に見学に行った時、利用者さんが私と話をしながら、笑顔になってくれた事が嬉しく、「ここでもっと利用者さんの笑顔がみれるように仕事を頑張りたい。」と思いました。初めて仕事をした時は、介護に関して勉強をしていたわけではなかったのですが、分からないことだらけでした。利用者さんは一人一人個性があり、その利用者さんにあっただ対応をしていく事に苦戦していました。そんな時、先輩の職員に何度も助けられ、介護をしていく上での難しさや、言語の壁を知るきっかけになりました。

仕事をしていて、「国は違っても笑顔は人を明る



かさまグリーンハウス  
ファンタイン タイン

く元気にさせることが出来る。」そう思った出来事がありました。ある利用者さんから「仕事を覚えるのも大切だろうけど、体には気をつけて頑張るんだよ。」と笑顔で話してくれた言葉が、私を勇気づけてくれました。利用者さんの役に立ちたいと思っていた私が、逆に利用者さんの言葉に勇気づけられ、もっと頑張ろうと思わせてくれました。

仕事は毎日忙しく、利用者さんとコミュニケーションを取ろうと思っても、なかなか時間が取れません。なので、少しでも空いた時間があったら、一人でも多くの利用者さんに笑顔になってもらえようように、利用者さんの一日の体調や行動を観察したり、細かい所にも目を向けられるようになりました。そのためにも、日本語の勉強や介護の勉強をもっと頑張つて、今まで以上に仕事を頑張りたいと思います。ベトナムに住むおじいちゃんとおばあちゃんが介護を必要とする時が来たら、私が率先しておじいちゃんとおばあちゃんの介護をして、恩返しをしたいと思います。



リアル会場 & オンライン同時開催!  
要費申込

11月11日は  
介護の日!

11/11

13:00-16:00

会場 無料  
ホテル  
テラスザガーデン  
水戸  
茨城県水戸市宮町1-7-20  
(水戸駅南口徒歩1分)

オンライン (ZOOM)

参加申込方法



**映画配信** 映画「ケアニン」のスピノフ含む2本の配信。  
申込メールにURLが属くので、好きな時間に視聴いただけます!

10/31~11/6 ピア~まちをつなぐもの~

11/7~13 ケアニン~こころに咲く花~



当日プログラム 11/11 13:00-16:00

第1部 講演 **これからの社会を、仕事をおもしろがる**

講師 中村 文昭 クロフネカンパニー代表

第2部 『介護の日』作文&写真コンクール2022

優秀作品発表!!  
私達の、ごく身近な美しい記録!



第3部 ワークショップ  
**おもしろがると介護は変わる!?**

講師紹介  
中村 文昭



1969年三重県生まれ15歳の時に家出。無学で上野。生活の保護となる人と出会い、働き入り。1日800円で過ごすような過酷な修行時代を経て、六本木にて飲食店経営を任される。21歳で三浦真由美、伊勢志摩で飲食店「クロフネ」をオープン。感じたサービスでお客様の人生を輝かす。現在は自身の出会いを通して得た経験を活かし講演活動を行い、その活動は年間300部を越える。また、子育てや教育を中心とした講演も年60部以上行い、中学校や高校、PTA、教育委員会などから大きな反響を呼んでいる。著書「お金でなく、人の心ででっかく生きる」(サンマーク出版)他多数。

「介護の日」感動・感激 心温まる写真展

イーアスつくば 2階 : 11月 3日(木)~11月 5日(土)

茨城県庁 2階 : 10月28日(金)~11月14日(月)

ファッションクルーズ 1階: 11月18日(金)~11月20日(日)



後援 茨城県/社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会/公益社団法人 茨城県理学療法士会/一般社団法人 茨城県介護福祉士会  
主催 一般社団法人 茨城県老人福祉施設協議会 いばらき介護フェス2022実行委員会  
お問い合わせ先 tel.029-241-8529  
https://www.jsibaraki.jp

実行委員会  
マスコミ・PRセンター  
ローシー



茨城県老人福祉施設協議会



# 茨城県福祉人材センター 求職登録者受付中!!

茨城県福祉人材センターは、  
福祉の仕事(介護や保育など)に就きたい方と、福祉施設・事業所を結びます。  
無資格・未経験者でもご紹介できる仕事があります。  
福祉の仕事に興味のある方は、ぜひご相談ください。



## WEBで

「福祉のお仕事」ホームページ(下記QRコード)  
から求職登録や、求人情報の検索ができます!  
登録いただいた方には、希望にあった求人情報  
をご提供します。登録、利用は無料です。

## お電話で

お電話でもご相談いただけます。  
•どんな求人が出てくるのか教えてください。  
•仕事内容について聞きたい。  
そんな方はお電話ください。

## 職場体験 の実施



中学生以上の方を対象に、福祉の仕事「職場体験事業」を行っています。実際の福祉の職場を体験したいという方は、お気軽にご相談ください。

- 体験先 … 県内高齢者施設
- 体験内容 … 利用者の介護・介助、作業補助 等



## 介護の 資格 届出

介護福祉士の資格を持つ方、介護に関わる研修を修了した方は、福祉人材センターに届出をいただくことで、介護にかかわる最新情報や研修によるスキル維持・向上のサポート・就労支援などが受けられます。  
○「福祉のお仕事ホームページ」(下記QRコード)から届出登録できます。

## 福祉の お仕事 カフェ



就職相談会を以下の日程で実施します。

### ■日立会場(多賀市民会館)

令和4年12月25日(日)

### ■つくば会場(イーアスホール)

令和5年1月7日(土)

### ■水戸会場(ホテルレイクビュー水戸)

令和5年1月15日(日)

※詳しくは下記お問い合わせ先まで御連絡ください。

### ■お問い合わせ

茨城県福祉人材センター

☎029-244-4544 📠029-244-4543

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

セキショウ・ウェルビーイング福祉会館2階



▲福祉のお仕事HP



▲福祉人材センターHP



▲福祉人材センターFB



公益社団法人

茨城県理学療法士会

Ibaraki Physical Therapy Association

茨城県理学療法士会は県内44市町村と協働して下記の事業を市町村単位で展開し、県民の健康寿命の延伸を目指します。

### ★北茨城地域自立支援センター

- 保健・医療・介護・福祉・教育・就労の連携推進をお手伝い
- 理学療法士が在宅生活の構築に関する相談を受け付け
- 北茨城市や関係機関とともに地域包括ケアシステム構築に協力

#### 【相談事例】

- 退院・退所後に自宅での自立した生活がしたい
- 訪問リハビリテーションを受けたい
- 職業性腰痛、介護方法等に関する勉強会の講師を頼みたい
- 障がい児・者や家族からの在宅生活に関する相談をしたい

〒319-1559 茨城県北茨城市中郷町上桜井844-6  
 北茨城市コミュニティーケア総合センター元気ステーション内  
 TEL：0293-44-3616



### ★筑西地域自立支援センター

〒308-0816

筑西市徳持 433-3 (ザ・ヒロサワ・シティ内)  
 TEL：0296-47-0294

- 相談支援事業所「ひなた」  
(事業実施委託先：茨城県リハビリテーション専門職協会)
- 無料職業紹介事業

### ★シルバーリハビリ体操の普及推進

茨城県では、茨城県立健康プラザや市町村の主催する講習会を修了した「シルバーリハビリ体操指導士」による住民主体の介護予防事業が広く行われています。日本理学療法士協会ならび茨城県理学療法士会では、誰もが気軽に取り組むことができ、介護予防と健康増進に高い効果が認められる「シルバーリハビリ体操指導士養成事業」の普及ならびに「シルバーリハビリ体操指導士」の皆様の活動を応援しています。2022年度はシルバーリハビリ体操フェスティバルにおいて、フレイル・サルコペニア予防を啓発する動画を作成しHPで公開し、理学療法士による電話相談を行いました。またシルバーリハビリ体操はYouTubeからも無料閲覧ができます。



#### 【お問い合わせ先】

公益社団法人 茨城県理学療法士会  
 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 (茨城県保健衛生会館内)  
 TEL：029-353-8474 FAX：029-353-8475  
 ホームページ：http://www.pt-ibaraki.jp/

お問い合わせはこちら



Facebook



Twitter





Japan Association of Certified Care Workers

公益社団法人 日本介護福祉士会

第30回 全国大会

第21回 日本介護学会 in いばらき

テーマ

介護新時代の MAKUAKE を  
いばらき から ~考える 感じる 気づく つながる~

会期

11<sup>2023</sup>

11<sup>Sat</sup> / 12<sup>Sun</sup>

会場  
水戸市民会館

大会長：森 久紀 / 志村フロイデグループ 介護部 部長  
実行委員長：伊藤 浩一 / 社会福祉法人北養会 理事



写真提供：茨城県営業戦略部観光物産課

運営事務局 一般社団法人 茨城県介護福祉士会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町 1918 番地 (茨城県総合福祉会館 5 階)

TEL 029-353-7244 (月・木 9-17 時) FAX 029-353-7246





茨城県

**茨城県長寿福祉課 長寿企画・援護グループ**

〒310-8555 水戸市笠原町 978-6 tel.029-301-3326



**一般社団法人 茨城県老人福祉施設協議会**

〒310-0851 水戸市千波町 1918 tel.029-241-8529